信州 下諏訪

下諏訪町総合観光ガイド

中山道と甲州街道が出会う
大社といで湯の宿場まち

諏訪大社下社秋宮

おいでなして

信州 下諏訪

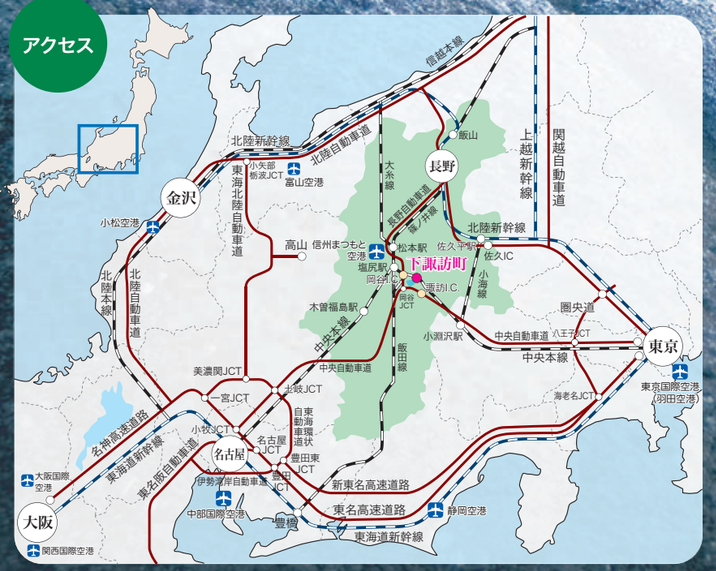
おいでなして

信州 下諏訪

下諏訪町総合観光ガイド

万治の石仏

アクセス



●電車（JR）ご利用の場合

- 新宿 → 下諏訪：中央東線 特急 2時間10分
- 名古屋 → 塩尻：中央西線 特急 1時間50分
- 塩尻 → 下諏訪：中央東線 普通 15分

●主要観光スポットへの所要時間

車山高原へ ……	車で	約50分
白樺湖へ ……	車で	約1時間
松本城へ ……	車で	約45分
善光寺へ ……	車で	1時間40分
軽井沢へ ……	車で	2時間10分
上高地へ ……	車で	2時間30分

●自動車 ご利用の場合

- 東京方面 → 高井戸IC：中央自動車道 2時間
- 高井戸IC → 諏訪IC：20分
- 東京方面 → 練馬IC：関越自動車道 上信越自動車道 1時間45分
- 練馬IC → 佐久IC：国道142号 1時間20分
- 佐久IC → 下諏訪：1時間20分
- 大阪方面 → 吹田IC：名神高速道路 東名高速道路 2時間20分
- 吹田IC → 小牧JCT：中央自動車道 2時間
- 小牧JCT → 岡谷JCT：2時間
- 岡谷JCT → 岡谷IC：10分
- 岡谷IC → 下諏訪：10分

● 下諏訪観光 PR キャラクター紹介

「万治くん」

趣味は、みんなの夢をかなえること。ちょっと見た目は怖いけどほんとはいいやつだよ！怖がらないでね。



「やしまる」

八島ケ原湿原にすむシュレーゲルアオガエルをイメージして完成した八島湿原のきれいな水、空気が大好きなキャラクター。



お問い合わせ

下諏訪観光協会（下諏訪町産業振興課）
〒393-8501 長野県諏訪郡下諏訪町4613番地8
TEL.0266-26-2102 FAX.0266-27-1339
https://shimosuwaonsen.jp

下諏訪観光案内所（水曜定休）
〒393-0056 長野県諏訪郡下諏訪町5317（JR下諏訪駅構内）
TEL.0266-28-2231 FAX.0266-28-2294

秋宮前観光案内所（下諏訪商工会議所）
〒393-0051 長野県諏訪郡下諏訪町3574番地
TEL.0266-28-8668

●信州観光情報センター
〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県庁1階 TEL.026-234-7165
●信州首都圏総合活動拠点（銀座NAGANO）
〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目6-5 NOCOビル TEL03-6274-6015
●長野県大阪観光情報センター
〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 TEL.06-6341-8205
●長野県名古屋観光情報センター
〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目16番36号 久屋中日ビル4階 TEL.052-251-1441

◎ 企画・編集／下諏訪観光協会

※本書に記載の金額及び内容は、2023年6月現在のものです。最新情報は適宜お問い合わせください。

2023.6 5000

古事記や日本書紀にも登場する
諏訪大社が鎮座し
諏訪湖が豊かな水をたたえる
湖と神話のふる里・下諏訪。
中山道宿場で唯一の「いで湯」
名湯・下諏訪温泉は
いにしえより幾多の旅人を
温かく迎え入れてきました。
今なお、この地には
四季折々の美しい自然とともに
往時の面影を残す宿場風情や
太古からの歴史の記憶が
そこかしこに色濃く残り
旅人を魅了し続けています。

C O N T E N T S

下社：諏訪大社下社 春宮・秋宮 …… 3
祭り：伝統・文化・イベント …… 5
宿場：街道が交わるまち …… 7
温泉：いで湯のまち …… 9
散策：路地歩きのまち …… 11
自然：高原と湖のまち …… 13
体験：ミュージアムガイドとお土産紹介 …… 15
美食：下諏訪のグルメ紹介 …… 17
地図：下諏訪観光マップ …… 18



諏訪湖の御神渡（おみわたり）



下諏訪宿本陣の庭園



八島湿原の夏



水月公園の桜

（見開き写真：富士山を望む諏訪湖の朝焼け）

悠久の歴史に思いを馳せて

歴史をさかのぼれば、はるか太古へと続く諏訪大社。
森や自然を神として畏れ崇めた、いにしえの人の思い。
厳かな神域、壮麗な社殿は、神の里と呼ぶにふさわしい風情を今に伝えています。

全国有数の御分社を持つ信濃國一之宮 諏訪大社

諏訪大社はお諏訪様・諏訪大明神として全国津々浦々の人々から親しまれ、崇敬されています。また、諏訪湖の南に上社(前宮と本宮)、北に下社(春宮と秋宮)とに分かれ、この四社を合わせて諏訪大社と総称します。

古代は狩猟農耕の神として、武士の時代には軍神として、現在では産業や交通安全、縁結びの神として崇められています。諏訪大社には本殿と呼ばれる建物が無く、その代りに秋宮はイチイの木を、春宮は杉の木を御神体として拝しています。


御神湯

諏訪大社下社春宮

地図-B2

諏訪大社下社の最初の鎮座地とも伝えられています。幣拝殿・片拝殿は国の重要文化財。毎年一月十五日には筒粥殿において作物の豊凶を占う筒粥神事が行われます。御影石の大鳥居は万治二年(一六五六年)の建立と推定され、万治の石仏と同じ作者と言われています。




秋宮 神楽殿

諏訪大社下社秋宮

地図-C3

幣拝殿の見事な彫刻は江戸中期の名匠、立川和四郎富棟の代表作。大注連縄が飾られた三方切妻造りの神楽殿、青銅製では日本一大きいとされる狛犬など、見どころもたくさん。幣拝殿、神楽殿ともに国の重要文化財です。




秋宮 幣拝殿

諏訪大社下社宝物殿

地図-C3

平安時代の作とされる国の重文、売神祝之印(めがみのほうりのいん)をはじめ、武田信玄や松平忠輝の奉納品など、下社に関わる貴重な資料を展示しています。


下社 宝物殿


春宮 幣拝殿

下馬橋

地図-B2

下社で最も古い建造物とされ、年二回、遷座祭、お舟祭の折、御霊代を運ぶ神輿はここを通ります。どんなに身分の高い人もこの橋の前で馬や籠を降り、参拝したといいます。


春宮 大鳥居



万治の石仏

地図-B2

諏訪大社下社春宮の近く、田んぼの中に鎮座する阿弥陀如来の石仏で、一九七四年に下諏訪を訪れた画家・岡本太郎氏が「こんなに面白いものは見たことがない」と絶賛したことから有名になりました。


万治の石仏入口の石碑
(筆:岡本太郎氏)



一度ごらんよ御柱祭を
諏訪の若衆の気の勇み

（長持ち唄）

最古の記録では平安時代、桓武天皇の御代に盛大に行われたとされる「諏訪のおんばしら」。太古から連綿と続く自然信仰の姿を今日に留める、貴重な祭りです。


御柱祭（下社木落し）

諏訪大社 御柱祭（式年造営御柱大祭）

七年に一度、申年と寅年に行われる天下の大祭。宝殿と四つのお社に建つ各四本の御柱を建て替えます。御柱は直径約一メートル、長さ十七メートル、重さ十トン以上にもなるモミの巨木を山から曳き出し、人力のみで各神社までの道中を曳行し、最後に各神社の社殿を囲むように四隅に建てます。柱を山から里へと曳き出す「山出し」が四月に、神社までの道中を曳き、御柱を各神社の社殿の四隅に建てる「里曳き」が五月に行われます。勇壮な祭りの代表的な場面として、「山出し」では「木落し」、「里曳き」では「建御柱」が有名です。

諏訪大社の御柱祭が終わると、続いて諏訪地方全域の神社で小宮の御柱祭が行われます。御柱年の諏訪地方は一年を通じて御柱一色となります。


「木落し」の舞台となる木落し坂 地図-A2


御柱の曳行


騎馬行列


建御柱


お舟祭

お舟祭

毎年八月一日、御霊代を春宮から秋宮へ移す遷座祭。御霊代に続いて翁媼人形を乗せた柴舟が曳行されることからお舟祭と呼ばれています。御頭郷と呼ばれる祭りの担当地区の氏子数百人が、長さ十メートル、重さ五トンという巨大なお舟を御柱祭さながらに力を合わせて曳行します。

前夜の宵祭りには氏子による長持ち、神輿等のパレードが華やかに行われます。



遷座祭

毎年二月一日、秋宮から春宮に御霊代をお移しするのが遷座祭です。白丁奉仕により御霊代を御神輿に乗せ、静かに移り行く様子は幻想的です。



節分祭

毎年二月に春宮と秋宮で、厄年を迎えた老若男女が「福は内、鬼は外」の掛け声とともに豆まき、宝投げを行います。



水月公園 さくら祭り 地図-A2

桜の名所である水月公園で桜が花開く時期の毎年四月に行われます。園内で咲き乱れるソメイヨシノやコヒガンザクラの下での宴が続きます。



ぶらりしもすわ 三角八丁

三角八丁（さんかくばっちょう）とは、大門鳥居前にある大灯籠を頂点として、秋宮と春宮を結ぶ三角形の道。

毎年春と秋、個性あふれる団体が、まち歩きを楽しんでもらうために下諏訪の食を集めた「うまいもん市」をはじめ、フリーマーケット、スタンプラリー、物販、体験、演奏会、展示などの催しを展開します。


抽選会場

伝統文化を体感しに「おいでなして」

下諏訪町木遣保存会

遠くまで響き渡る澄んだ声で唄う木遣り。その声で人々の心がひとつになり、太い御柱が動き出します。下諏訪町木遣保存会は、この貴重な伝統文化を伝承保存するための活動を積極的に行っています。ぜひ一度、下諏訪で私たちの木遣りを聞いて、感じてください。



祭りを華やかに彩る「長持ち」は必見。

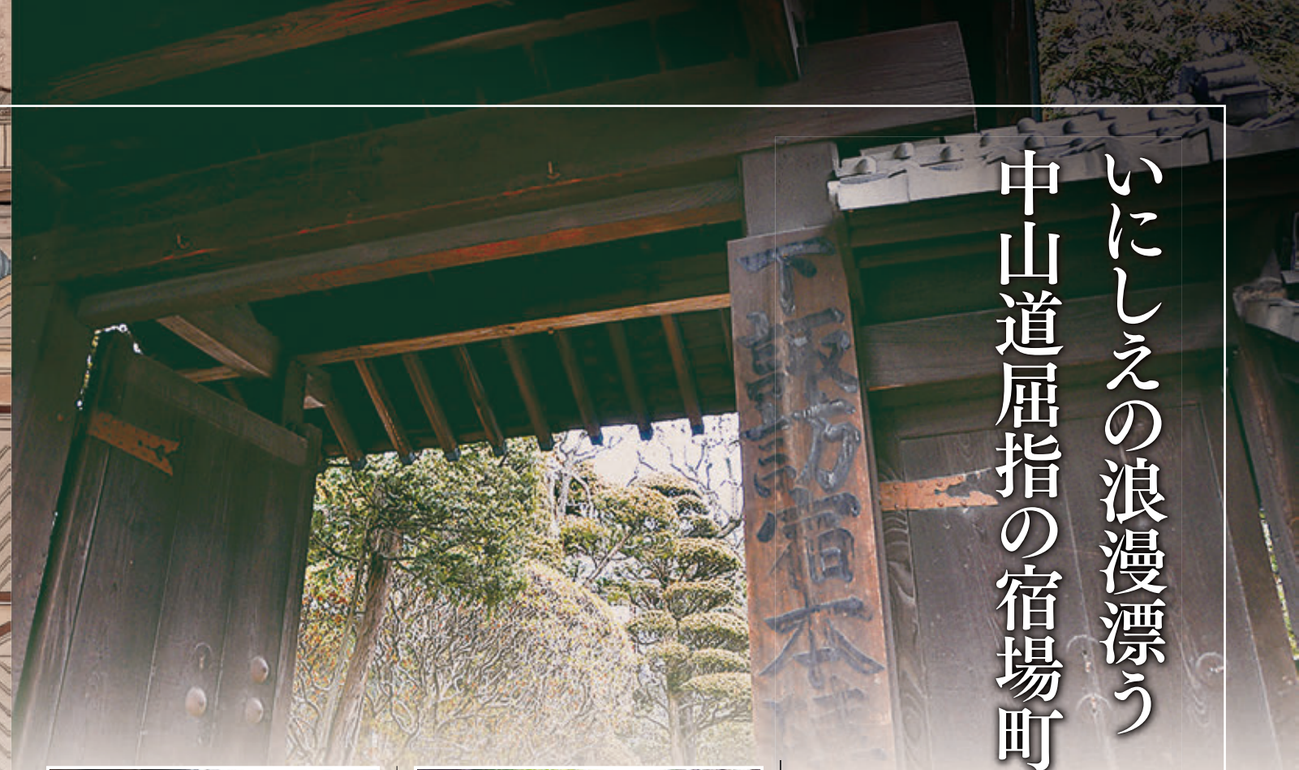


長持ち唄に合わせ、ギシギシと音をさせながらリズム良く練り歩く「長持ち」は、諏訪の祭りには欠かせない催し物のひとつ。下諏訪町内にも多くの長持ち保存会や団体があり、御柱やお舟祭に華を添えています。



宿場
街道が交わるまち





いにしえの浪漫漂う 中山道屈指の宿場町

江戸から京へと続く六十九次の中山道。
江戸から甲斐路を抜けて
下諏訪に至る甲州街道（甲州道中）。
主要な二つの道筋が合流する
下諏訪宿は、道中でも屈指の規模を持つ
宿場町として栄えました。



慈雲寺（じうんじ） 地図-B2

一三〇〇年（正安二年）元国皇帝の国使として、中国四大仏教名山の一つ浙江省普陀山観音禅寺（現・普済寺）より来朝。一山一寧国師により、観音菩薩が教えを垂れる寺、禅道場として開山されました。



銕焼（かなやき）地蔵尊と「かね」の像

来迎寺（らいごうじ） 地図-B3

古くから下諏訪のお寺として宿場にあり、浄土宗知恩院、増上寺等が本山。「かなやき地蔵尊」の伝説とともに多くの信仰を受け、御堂は享保年間の建造物といわれ、四月にはご開帳が催されます。







今井邦子文学館（旧 松屋）（いまいくにこ） 地図-B2

かつて宿場の茶屋であった「松屋」を復元した建物。アララギ派の女性短歌結社「明日香」の編集所としても使われた当時の面影を偲ばせています。

営 9:00～17:00　料 無料
休 月曜日と祝祭日の翌日、12/28～1/4
問 TEL.0266-28-9229



宿場街道資料館 地図-C3

江戸時代の宿場民家を保存する資料館。宿場関係を中心に街道、温泉などの貴重な歴史民俗資料が保存・展示され、当時の様子を知ることができます。

営 9:00～17:00　料 無料
休 月曜日と祝祭日の翌日、12/28～1/4
問 TEL.0266-27-8827



下諏訪宿本陣 地図-B3

参勤交代の大名らが泊まった本陣。江戸時代の建物と庭園が今もそのまま残されています。

歴史をしのばせる回遊式庭園に座るとタイムスリップした様です。

営 10:00～16:00　休 水曜日
料 一般800円、中学生以下400円（税込）
問 TEL.0266-28-7055



伏見屋邸（ふしみやてい） 地図-B2

伏見屋邸は八六四年（元治元年）の建築と推定される木造二階建ての旧商家。復元修理し、まち歩きを楽しむ観光客の休憩や住民の交流の場として開設しました。

営 9:00～17:00　料 無料
休 月曜日と祝祭日の翌日、12/28～1/4
問 TEL.0266-27-3441





宿場の風情が今も残る湯田坂

甲州道中・中山道合流の碑



明治期の中山道西餅屋（歴史民俗資料館資料）





橋本政屋（はしもとまさや） 地図-D5

甲州街道の茶屋跡。堂々とした家構えに諏訪湖を一望できるとあって諏訪の殿様もお忍びで来られたとか。旅人が手を合わせた力蔵、諏訪高島城より拝領の松の木、石灯籠、門、お堂等、江戸時代の面影をそのまま残しています。

P 30台有　イベント貸出料 5,000円（税込）～
問 TEL.090-9353-3833（長崎）



柿蔭山房（島木赤彦住居跡）（しいんさんぼう） 地図-D5

アララギ派歌人であった赤彦の住まい跡。この柿蔭山房で多くの優れた歌を残しました。秋には柿の実と山房の美しい風景が赤彦の想いと重なります。



魁塚（さきがけづか）（相楽塚） 地図-C2

明治維新の折り、官軍の先鋒として年貢半減などを掲げ中山道を江戸へと向かった赤報隊が、維新政府により斬首されたのがこの地。その後、相楽総三らの名誉回復が成され、処刑場所に建てられたのが「魁塚」です。

温泉
いで湯のまち



毒沢鉱泉「神乃湯」

神話と伝説の湯
名湯・下諏訪温泉

綿の湯、児湯、旦過の湯…。
中山道で唯一の温泉宿場として
幾多の旅人や文人墨客を迎えてきた
歴史のある名湯・下諏訪温泉。
人々を温かくお迎えしたおもてなしと
ゆったりとした湯治場の風情が残る
「いで湯」の里です。





ぎん月 露天風呂



みなとや旅館 露天風呂



旅館 奴 露天風呂



聴泉閣かめや（上段の間）



鉄鉱泉本館 客室



桔梗屋 客室



綿の湯跡
地図-B3

女神が化粧用の綿に湯を含ませて置いたところから湯が湧いたといわれます。源湯モニュメントがあります。





下諏訪温泉 宿泊ガイド

市外局番はすべて ☎0266

名　称	電話番号（0266）	室数	収容人数	宿泊料（税込）	地図位置	備　考
中山道沿い					★詳細地図はP12	
聴泉閣かめや	75-0161	9	38	20,900円～	地図-B3	露天風呂有
桔梗屋	27-8024	5	10	18,700円～	地図-C3	
ぎん月	27-5011	13	50	16,500円～	地図-B2	露天風呂有
鉄鉱泉本館	27-8063	8	25	15,400円～	地図-B2	日帰り入浴可
中川旅館	27-8556	5	20	7,700円～	地図-B3	
梅月	27-0055	5	15	19,800円～	地図-B2	
旅館 奴	27-8530	4	15	19,800円～	地図-B3	露天風呂有
御宿まるや	27-5151	3	12	23,100円～	地図-B3	
みなとや旅館	27-8144	3	4	23,000円～	地図-C2	露天風呂有
甲州道中沿い						
B&Bユーペンハウス	28-9000	8	16	4,950円～	地図-D5	※素泊り料金
市街地					★詳細地図はP12	
三代目おくむら旅館	27-8106	7	16	12,650円～	地図-B2	
大増旅館	27-6000	10	40	10,000円～	地図-B2	
グリーンサンホテル	26-1455	19	26	6,500円～	地図-C2	※素泊り料金 天然温泉
マスヤゲストハウス	55-4716	5	21	4,000円～	地図-C2	※素泊り料金
小さな古民家 庵（いおり）	050-3576-3205	1	1～5	16,000円～	地図-B2	※一棟貸し 素泊り宿
諏訪湖畔						
諏訪湖旅館	27-8592	3	9	5,000円～	地図-D3	※素泊り料金
毒沢鉱泉						
神乃湯	27-5526	13	35	11,000円～	地図-A2	日帰り入浴可
宮乃湯旅館	28-3888	8	25	12,870円～	地図-A2	日帰り入浴可
八島湿原					★詳細地図はP18	
奥霧ヶ峰高原荘	58-5355	7	21	6,600円～	地図-A3	6月～9月下旬
ヒュッテみさやま	75-2370	6	18	8,500円～	地図-A3	※素泊り料金
八島山荘	58-5357	9	30	12,000円～	地図-A3	
鷲が峰ひゅって	58-8088	3	4	18,000円～	地図-A3	

※宿泊料は1泊2食2名様で宿泊の場合、1名様あたりの金額です。（サービス料込、消費税込）
※宿泊料のほか別途入湯税 150 円が課税されます。
◎宿泊のお問い合せは 下諏訪観光案内所 ☎(0266)28-2231（水曜定休）





高浜健康温泉センター ゆたん歩°
地図-C3

休 火曜休（祝日の場合は営業、翌日休）
営 9：00～20：00
問 ☎0266-26-2626



湖畔の湯
地図-D2

休 月曜休　営 6：00～21：30
問 ☎0266-28-0054



矢木温泉
地図-C2

休 無休　営 5：30～22：00
問 ☎0266-28-3232（土田薬局）



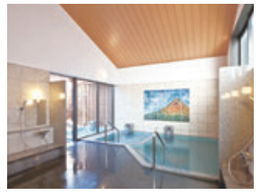
菅野温泉（すげの）
地図-C2

休 無休　営 6：00～22：00
問 ☎0266-27-1076



新　湯
地図-B2

休 無休　営 5：30～22：00
問 ☎0266-26-7332



旦過の湯（たんが）
地図-B2

休 無休　営 5：30～22：00
問 ☎0266-26-7520



遊泉ハウス 児湯（こゆ）
地図-B3

休 無休　営 5：30～22：00
問 ☎0266-28-0823



児宝地蔵
遊泉ハウス児湯の入口におわす地蔵尊。児湯に入って温まると子宝に恵まれるという言い伝えがあります。

下諏訪温泉 公衆浴場めぐり

下諏訪町内には温泉公衆浴場が設けられ、気軽に温泉気分を味わうことができます。料金は一般的な銭湯より安い240円から。ちょっと立ち寄ってみませんか。

懐かしい路地と宿場の風情が残るまち

江戸の香りを残す宿場風の建物と
海鼠塀や板塀の小さな路地。
さらには太古の昔から昭和まで
様々な時代の記憶が今なお残り
どこか懐かしいまち。
日常の暮らしの中に
豊かな歴史が同居している
下諏訪宿界隈の散策は、
いつも小さな発見があります。



散策 路地歩きのまち



下諏訪宿 散策マップ



地図の凡例

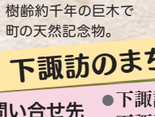
- ピックアップポイント
- 旅館・ホテル
- 喫茶・食事・飲食店
- お土産・菓子店
- 温泉・足湯
- 神社　卍 寺院
- トイレ
- タクシー乗り場
- レンタサイクル
- P 駐車場



この神田に植えられた稲は1ヶ月で穂が出るといわれ下社七不思議のひとつ。



青塚古墳は諏訪地方唯一の前方後円墳で県指定文化財。









諏訪湖

諏訪湖畔は健康・スポーツゾーン

諏訪盆地の真ん中に位置する諏訪湖は、海抜759m、一周約16kmの信州で最も大きな湖です。

ボート競技など水上スポーツに親しむ拠点、下諏訪ローイングパークがあり、毎年秋には多くの町民が参加する「下諏訪レガッタ」が開催されます。

また、諏訪湖をぐるっと周遊できるジョギングロードが設けられて、湖畔は散策やジョギングを楽しむ人々の憩いの場として親しまれています。

自然豊かで、夏は過ごしやすい気候から、周辺はスポーツ合宿の適地としても知られています。



地図-D3

富士見百景

下諏訪町の湖畔から遠望する富士山は国土交通省関東地方整備局が選定した「関東の富士見百景」に選ばれています。




ニッコウキスゲ（蝶々深山）



八島湿原の花ごよみ

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ザゼンソウ						
ショウジョウバカマ						
クリンソウ						
スズラン						
ワタスゲ						
レンゲツツジ						
グンナイフウロ						
コバイケイソウ						
アヤメ						
カキツバタ						
ハクサンフウロ						
キバナノヤマオダマキ						
チダケサシ						
ニッコウキスゲ						
キンバイソウ						
ノアザミ						
キンミズヒキ						
アカバナシモツケソウ						
ヤナギラン						
ワレモコウ						
マツムシソウ						
アキノキリンソウ						
ウメバチソウ						
ツクバトリカブト						
ベンケイソウ						
ヤマラッキョウ						
エゾリンドウ						

注意：年によって多少花期がずれる場合があります。


赤砂崎公園 展望丘から諏訪湖を望む


下諏訪ローイングパーク「AQUA 未来」


下諏訪港付近のジョギングロード



八島湿原

大自然が持つ四季の輝きに出会う

野鳥たちのさえずりが響く春の躍動感。
亜高山植物が咲き乱れる眩しい夏。
草紅葉に一面が染まる秋の鮮やかさ。
アニマルトラッキングやスノーシューで
純白の別世界を楽しむ冬。
八島湿原は四季折々の輝きに出会える
大自然のフィールドです。

八島ヶ原湿原

約一万二千年をかけてミズゴケの堆積によって現在のような地形になったといわれ、学術的にも大変貴重な高層湿原です。周辺は貴重な動植物の宝庫で、国の天然記念物（文化財）に指定されています。特に6月中旬から9月中旬頃まで亜高山植物の可憐な花が咲き誇る姿を遊歩道をたどりながら眺めることが出来ます。

鷲ヶ峰第2ピークから八島湿原を望む

八島湿原の冬

八島湿原の草紅葉



八島ビジターセンター（あざみ館）



八島湿原でのトレッキングや自然観察の拠点。一階展示室では、八島ヶ原湿原の空中写真による湿原の成り立ちや高原に生きる動物や亜高山植物を紹介しています。

営 9：30～16：30(4月下旬～11月上旬)
休 期間中無休　設 AED設置施設
料 入館無料　問 TEL.0266-52-7000

八島ヶ原湿原ポイント間の距離と所要時間

広場 —30分/1.1km— 鎌ヶ池 —30分/1.2km— 御射山 —30分/1.4km— 広場

一周90分！

広場からの所要時間（ゆっくりタイム）

- 鷲ヶ峰まで …… 60分
- 和田峠まで …… 90分
- 御射山まで …… 30分
- 大平まで(観音沢コース) 210分

車山まで
- 物見石コース … 180分
- 沢渡コース …… 150分

強清水まで
- ビーナスラインコース 120分
- 林間コース …… 120分



体験
ミュージアムガイド

見る・聴く・買う・体験する。楽しみ方いろいろ。

精密技術の集積地で「ものづくり」に触れる

製糸業で日本の近代化を担った諏訪地方は、戦後の高度成長期には、時計、カメラ、オルゴールを中心とした精密工業地帯として発展し、「東洋のスイス」として名を馳せました。今日も様々な先端の製造業が発達しています。そんな下諏訪だからこそ体験できる技と匠の世界にぜひ、触れてみてください。

時計工房 儀象堂

自分の手でできるオリジナルウォッチ／クロック作りを体験できます。小さなお子様にも楽しんでいただけるビギナーコースから本格的にムーブメントを組み立てる専門コースまで豊富にコースを用意。一人ひとり丁寧に指導しますので安心して挑戦できます。





ものづくり体験

セイコーOBの技師が教える 時計作り体験にチャレンジしよう。

◎ウォッチ製作
時間：20分～6時間
料 4,070円(税込)～

◎クロック製作
時間：45分
料 2,500円(税込)～

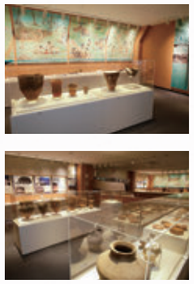
※予約が必要なコースもございます。事前にお問い合わせください。
※別途入館料が必要です。



星ケ塔ミュージアム 矢の根や

国の史跡指定を受けた「星ヶ塔遺跡」の黒曜石を中心に下諏訪町内出土の埋蔵文化財が多数展示されています。

館内には「星ケ塔遺跡」にある縄文晩期の黒曜石採掘坑を原寸大で再現したジオラマや、諏訪地方唯一の前方後円墳「青塚古墳」を目前に眺めるテラスもあります。





しもすわ今昔館 おいでや

営 9:00～17:00
(12月～2月 9:30～16:30)
休 年中無休(臨時休館の場合有)
料 大人600円、小中学生300円(税込)
※団体割引有
問 TEL.0266-27-0001 地図-B2



水運儀象台





おんばしら館 よいさ

七年に一度、開催される御柱祭に対する諏訪人の思いとその迫力をお楽しみいただける施設です。

御柱の大きさを体感する模擬御柱、長持ちや騎馬行列など実際に使用されていた道具、ジオラマ展示のほか、祭の興奮がよみがえる「御柱シアター」、木落しを模擬体験できる「木落し体験装置」(200円)など、たっぷりと御柱祭の魅力を感じてください。



木落し体験装置



長持ち展示



御柱シアター



営 9:00～17:00 (冬季9:30～16:00)
休 年末年始
料 大人300円、小中学生200円(税込)
問 TEL.0266-26-0413 地図-B1

ニデックオルゴール記念館 すわのね

営 9:00～17:30 (10月～3月17:00まで)
休 4月及び9月～翌4月の月曜日、12月30、31日
(祭日と重なる日は翌火曜日)
料 大人1,000円、小中学生500円 (税込)
※団体割引有
問 TEL.0266-26-7300 地図-C2





諏訪の精緻なものづくりの伝統を世界に発信する、学べて、聴けて、創れて、手に入れることのできるオルゴールミュージアムです。ものづくりの楽しさ、諏訪の魅力、上質で魅力溢れる美しい響きを存分にお楽しみいただけます。

1Fのオルゴールブティックとオープンテラス付きの開放的なカフェは、入館料無料でご利用いただけます。



オルゴールブティック

ものづくり体験

オルゴール組立体験工房

時間：毎正時～(40分)
参加人数：1名様～40名様
料 2,970円(税込)～
※ケース料金+入館料
(ケースの種類により料金が異なります)
※6名様以上はご予約ください。



世界でひとつ、あなただけのオルゴールを作ってみませんか。

JPOPからクラシックまで約700曲の中からお気に入りの1曲を選曲。ドラムの固定やゼンマイ入れ、音色を大きく左右する振動板の噛み合わせ作業は、技術スタッフが丁寧にご案内いたします。緑豊かなアトリエで作る自分だけの音色。自然の癒しを感じながら職人気分を味わってみてはいかがでしょうか。

諏訪湖博物館 赤彦記念館

地図-D4

諏訪湖と人々の暮らしをテーマに、その様子とアララギ派の歌人・島木赤彦の資料を展示しています。また、下諏訪で産出される黒曜石の説明や武田信玄ゆかりの諏訪法性の兜などの展示もあります。






木落し坂

ぐるっと 下諏訪 観光マップ



下諏訪町循環バス「あざみ号」のご案内

下諏訪町内をきめ細かく巡回するあざみ号。
大人150円、小学生80円、1日フリー券300円(税込)

◎お問い合せ先：JRバス関東株式会社
☎(0266)27-8673 (9:00~17:30)

八島湿原



美食 しもすわのグルメ紹介

ほかほかじゅわ～っ
しもすわ グルメ

下諏訪に来たら味わって欲しい！「美味しいもの」ご紹介。



信州そば

信州でグルメといえばやっぱり蕎麦。キリッとコシのある手打ち蕎麦を鰹だしの利いたつゆで召し上がれ。

うなぎ

昔は、諏訪湖でたくさんうなぎが捕れたことから諏訪地方は伝統的にうなぎの消費が多い土地。お店ごとに違いはありますが、どこで食べてもおいしいのが下諏訪のうなぎです。



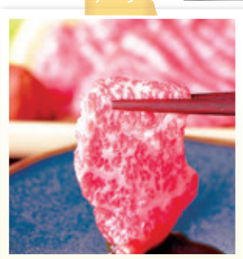


川魚料理

諏訪湖の恵み、鯉やわかさぎの川魚料理は、ここでしか食べられない自慢のグルメ。旅館や食事処、川魚店で、ぜひどうぞ。

馬刺し

馬の産地だったことから、信州人は昔から馬肉を食べる習慣があります。臭みもなく、あっさりしている馬肉は、美しい色あいから桜肉とも呼ばれ、馬刺しや桜鍋など、ぜひ食べてほしいおすすめのグルメです。





りんご

町内のリンゴ農園では、例年9月上旬から10月下旬までリンゴ狩りができます。完熟・もぎたてのリンゴは格別です。絞りたて無添加100%のリンゴジュースも人気です。



地酒

下諏訪の地酒「御湖鶴」は、町唯一の酒蔵として地元に愛されています。原料からこだわって出来たお酒は、料理との相性が大変良いと評判です。

いずみ湖公園



一足伸ばして大自然を満喫！

いずみ湖公園

下諏訪町営いずみ湖公園にはテニスコートやマレットゴルフ場、カヌー場、キャンプサイト等が整備されています。爽やかな高原でのびのびとスポーツを楽しんでみませんか。

施設名	営業期間・時間	お問い合せ先
マレットゴルフ場	4月下旬～11月上旬 (9:00～17:00)	現地管理棟 TEL(0266)58-8560
テニスコート	4月下旬～11月上旬 (9:00～18:00)	現地管理棟 TEL(0266)58-9772
カヌー場		
グラウンド	4月下旬～11月上旬 (5:00～17:00)	建設水道課都市整備係 TEL(0266)27-1111(内線245)

電動アシスト自転車でぶらり旅はいかが？



レンタサイクルのご案内

電動アシスト自転車は見所いっぱいの下諏訪を欲張って楽しむのにもってこい。料金もお手軽です。ぜひご利用ください。

◎友之町駐車場(TEL.0266-27-0005)
◎しもすわ今昔館おいでや(TEL.0266-27-0001)

営 受付時間 9：00～16：00 (11月～2月 9：00～15：30)
料 1台につき 1時間100円(税込)
※E-bike(電動アシスト付スポーツバイク)は1時間 500円(税込)

地図の凡例

- ピックアップポイント
- 旅館・ホテル・民宿
- 喫茶・食事・飲食店
- お土産・菓子店
- 温泉・足湯
- 神社 卍寺院
- トイレ
- タクシー乗り場
- 駐車場
- ガソリンスタンド

赤砂崎公園右岸広場 車中泊場

利用台数：4台(予約制)
料 3,000円(税込)／泊・1台
問 建設水道課都市整備係：TEL(0266)27-1111(内線245)